

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

岐阜県 養老町

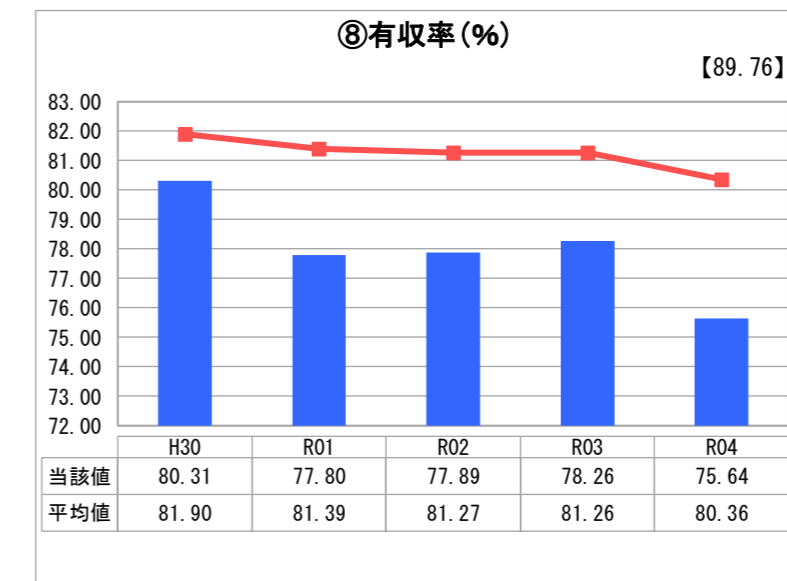
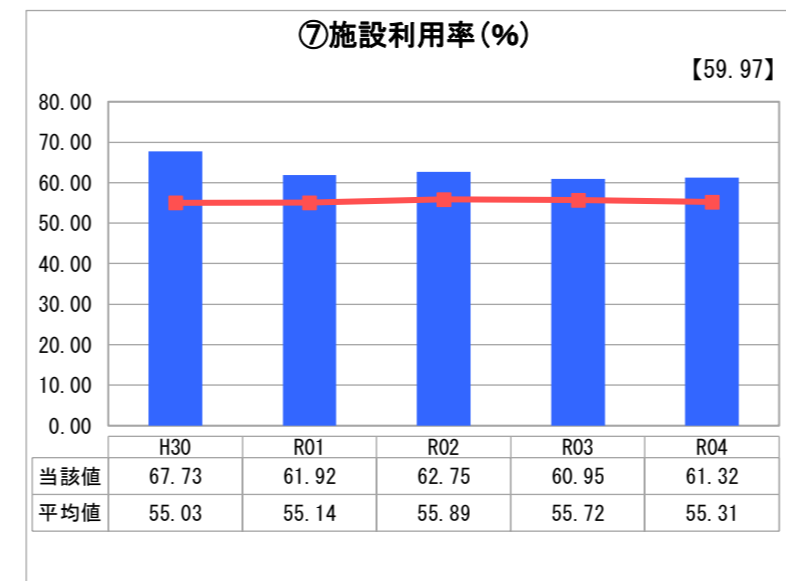
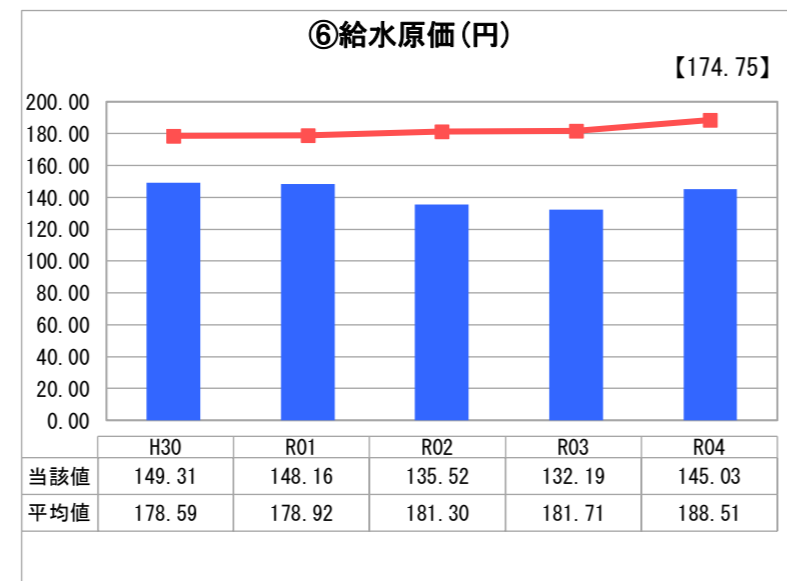
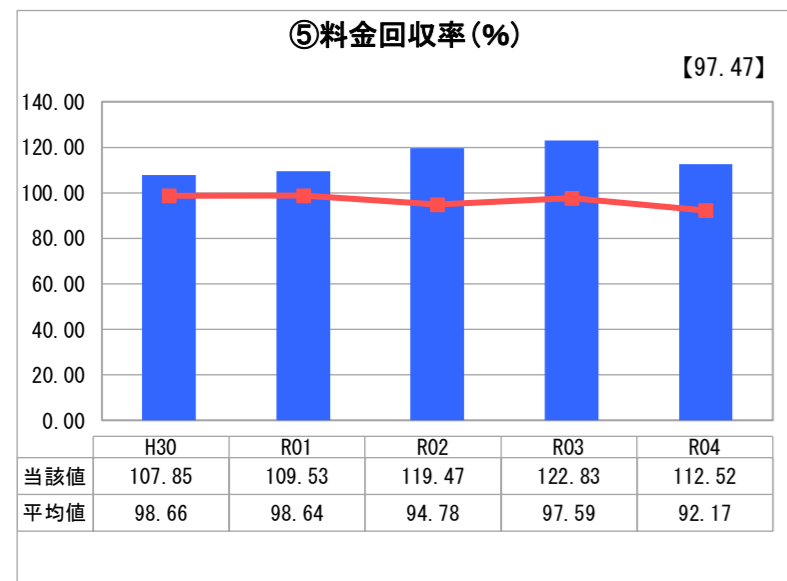
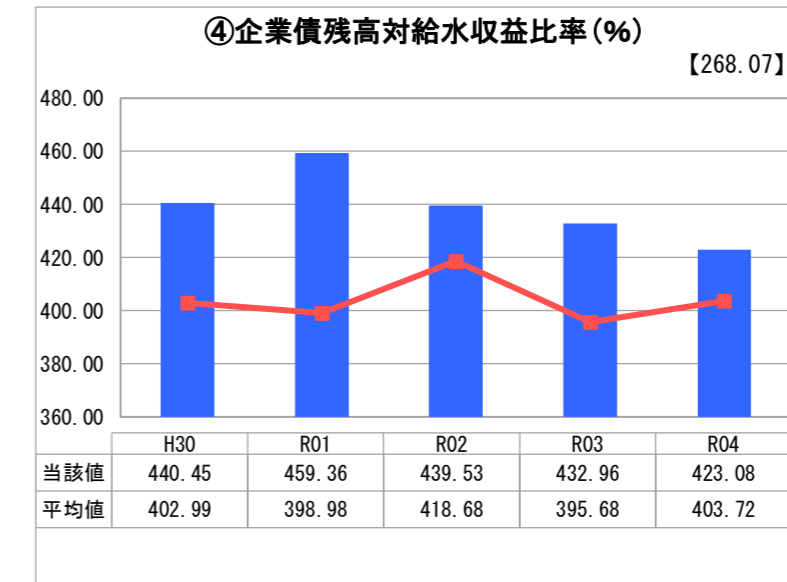
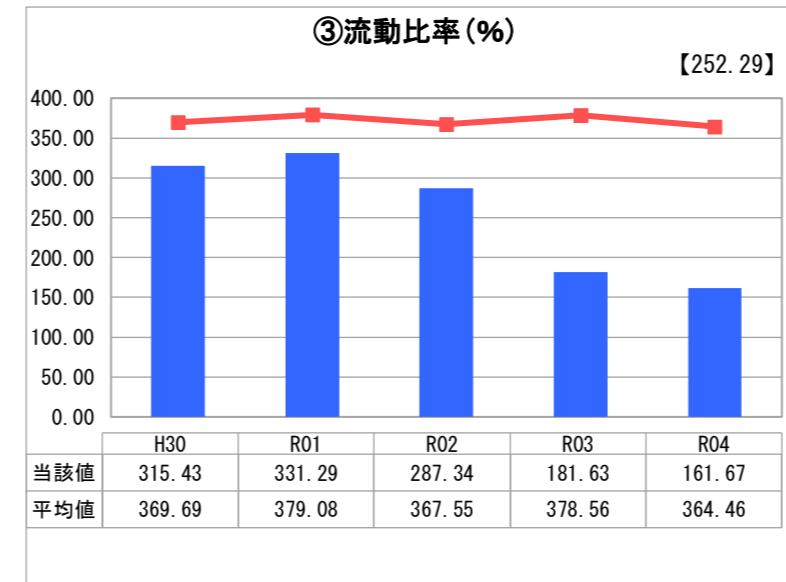
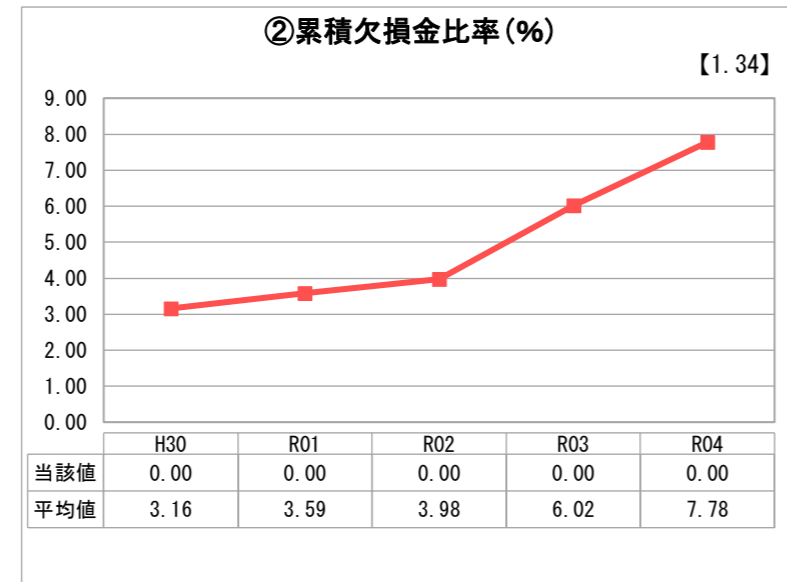
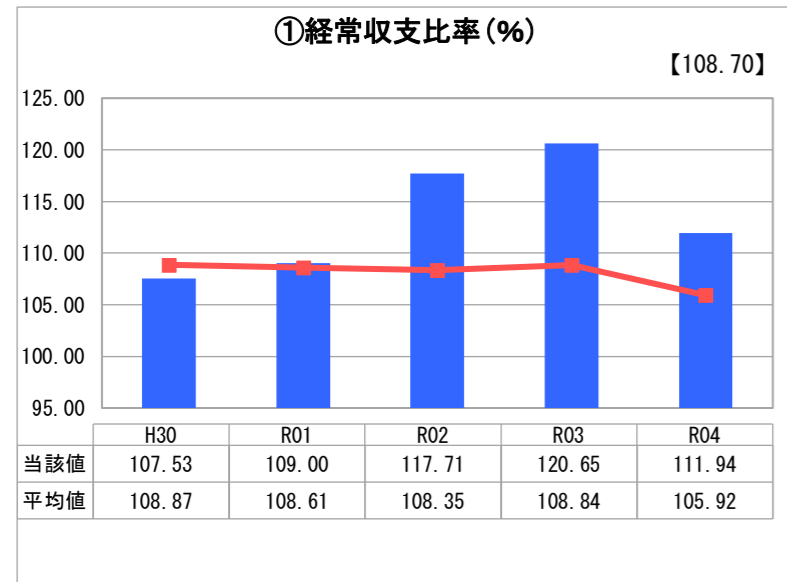
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	63.74	93.02	3,185	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
26,858	72.29	371.53
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
24,826	55.00	451.38

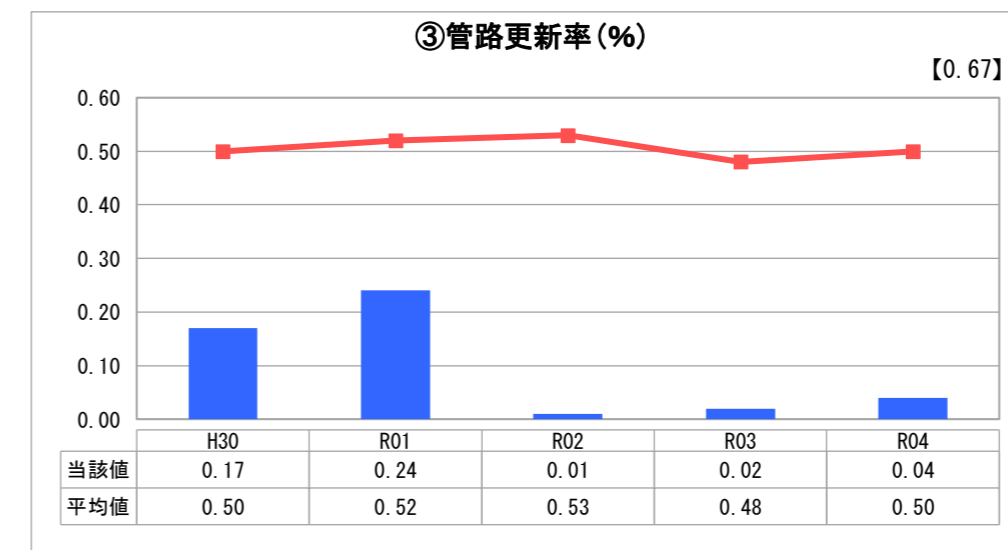
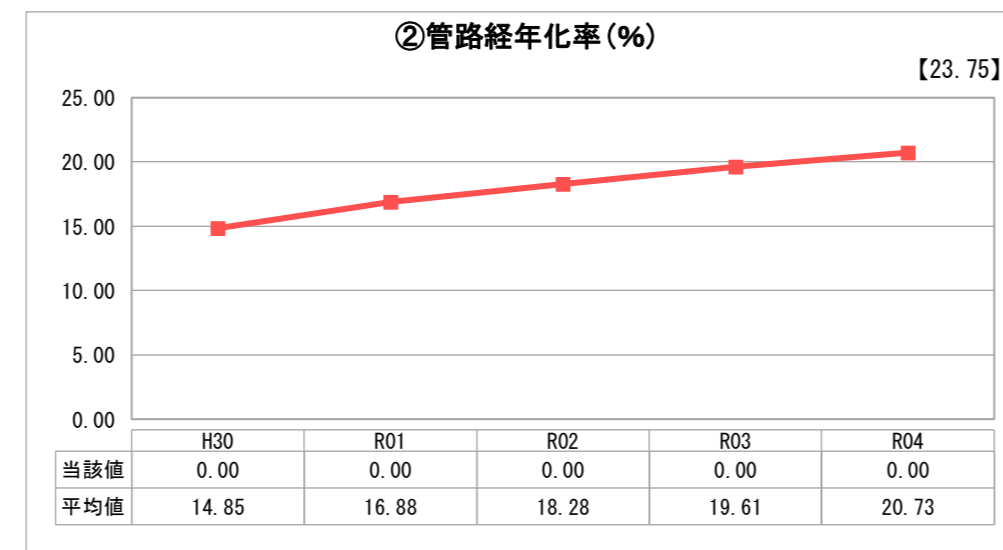
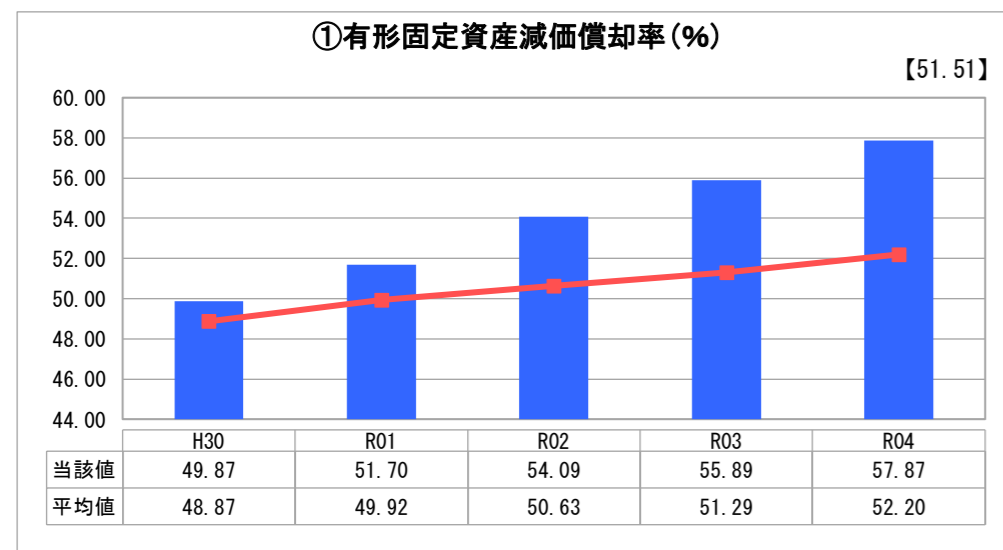
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

当町の経常収支比率は、100%以上で黒字ですが、今後の人口減少や節水機器の普及により、給水収益の減少が予想されることから、費用の削減を検討していく必要があると考えられます。

流動比率は、100%以上であり短期的な債務に対する支払い能力はあるといえるが、全国及び類似団体平均より下回っています。今後は、料金収入の減少や、企業債償還額の増加が見込まれ、さらに流動比率が低下すると考えられます。将来の見込を踏まえた分析をし、経営改善を図っていきます。

企業債残高対給水収益比率は、全国及び類似団体平均より上回っていますが、これは簡易水道から上水道への統合、及び耐震管布設替等の工事により企業債借入が増加したためです。今後はポンプ場施設更新の予定があるため、借入を必要最小限に抑えながら、計画的に事業を行っていきます。

給水原価は、当町は良質な水源に恵まれているため、全国及び類似団体平均よりも低く抑えられています。また、料金回収率も100%を上回り、給水に必要な費用を料金回収で賄うことができているため、有収率は、全国及び類似団体平均より低い数値となっているため、漏水調査等を行い、有収率の改善に努めていきます。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、上昇傾向にあります。管路経年化率は法定耐用年数を超えていないため0%ではありますが、供用開始当初の構築物の更新が迫っており、今後上昇することが予想されます。

管路更新率については、全国平均及び類似団体に比べ低い水準ですが、これは、令和元年度から令和5年度にかけて、簡易水道統合という事業を行っているため、必要最低限の布設替しか行っていないためです。

今後、法定耐用年数を超える管路等を更新するにあたり、老朽管、漏水が疑われる管路等を優先的に行う必要があります。

### 全体総括

経常収支は黒字であり、累積欠損金もなく健全な経営といえます。中長期的に見ると人口減少等による給水収益の減少、耐用年数を超える施設等の更新費用の増加が予測されます。そのため、さらなる経費削減に努めるとともに、計画的に施設等の更新を行います。